

平成二十四年 造幣局桜の通り抜け

川柳入選句

共選 住田 英比古

西出 楓楽

本田 智彦

佳句

(二五句)

絶世の美女の競演通り抜け

大阪府箕面市

久米 穂酒

通り抜け屋台のにおい花ひらく

大阪府大阪市

春永 路子

日本の頑張り祝う通り抜け

大阪府枚方市

伊達 郁夫

大川の川面もピンク通り抜け

大阪府大阪市

伊坪 良

ふるさとのみやげ話に通り抜け

大阪府松原市

黒川 孤遊

小手毬がほら春風と踊ってる

大阪府河内長野市

村上 直樹

ばあちゃんの腰も伸びるよ通り抜け

大阪府大阪市

岡田 由美

生き抜いた桜私も生きてゆく

奈良県北葛城郡

菱木 誠

小手毬がはずみ出しそな花日和

大阪府交野市

桑原 宏子

生きていて良かった今日の通り抜け

大阪府堺市

工藤 まさ子

中国語も英語も笑う通り抜け

大阪府大阪市

田中 ゆみ子

亡き妻の写真片手に通り抜け

大阪府大阪市

外園 照男

人ごみに負けじと桜競い合う

兵庫県尼崎市

野原 重政

いつの間に国際化した通り抜け

大阪府大阪市

和田 順子

春風もピンクに染まる通り抜け

兵庫県川西市

井本 清山

アナウンスお国いろいろ通り抜け

大阪府河内長野市

松岡 孝子

通り抜け人間らしい顔になり

大阪府大阪市

前 たもつ

パスポートの友連れ楽し通り抜け

大阪府枚方市

磯野 正幸

遊覧船手を振り合うも通り抜け

大阪府門真市

土屋 雅洋

さくら咲く夫婦仲よくピンク色

大阪府大阪市

綱澤 貴浩

花の下イケメンになるおじいちゃん

大阪府門真市

西 美和子

かわいいと言われて弾む通り抜け

大阪府枚方市

紙屋 クミエ

短冊がおいでおいでと通り抜け

大阪府大阪市

柴本 太郎

悩みなど吹っ飛んで行く通り抜け

大阪府高槻市

安田 忠子

東北へ手を振ることく桜ゆれ

大阪府大阪市

濱本 萬佐子

秀逸

(五句)

通り抜けなにわの春の句読点

大阪府大阪市

樋口 眞

大阪に活を入れない通り抜け

大阪府枚方市

碓氷 祥昭

通り抜けまだ前向きに生きられる

大阪市藤井寺市

太田 扶美代

消費税のことは忘れて通り抜け

大阪府茨木市

天根 夢草

忘れない被災地思い咲く桜

大阪府大阪市

田口 和代

人 この酔いは酒か桜か通り抜け

兵庫県西宮市

谷田 賢三

【評】 酔うのに酒と桜を比喻したところがこの作品のモチ

ーフとなっている。川柳で「この」は格助詞で具体性がぼんやりした表現だが、通り抜けが酒に酔った気分と等しいと作者は感じたのだろう。

地 原発の心配しつつ通り抜け

大阪府大阪市

熊代 菜月

【評】 通り抜け期間中、原発の是非について論議され、作

者はその結果が心配だったのだろう。時事吟的作品だ。

天 脚光を浴び小手毬もポーズする

大阪府大阪市

津守 信子

【評】 今年の桜「小手毬」こでまり花は小さい手毬の状態となると

ころから、この名がつけられた。どうしても観桜の中心となって小手毬もポーズをとっていると擬人法的とみたのだろう。

選者吟

老い二人佇む雨の通り抜け

住田 英比古

ここだけはこの世のあらず通り抜け

西出 楓楽

復興にエールを送る通り抜け

本田 智彦